

化石研 ニュース

No.126 2016/05/12

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1
群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

第34回化石研究会 総会・学術大会 プログラム

前号の化石研ニュースでご案内しましたとおり、6月11～12日に開催する第34回化石研究会総会・学術大会（通算145回）のプログラムについてお知らせいたします。

- 会 期：2016年6月11日（土）～12日（日）
- 会 場：早稲田大学早稲田キャンパス（東京都新宿区西早稲田1-6-1）
11号館（11日）・14号館（12日）
[世話人：平山 廉 会員（早稲田大学国際教養学部）]
- 参加費：無料
- 日 程：
 - 6月11日（土） 13時～18時+α
 - シンポジウム「カメ類の起源と進化を考える」（11号館703・706教室にて）
一般公開、くわしくは2～3ページをご覧ください。
 - 懇親会（18時30分～、会費¥4000／レストラン「高田牧舎」にて）
定員制（30名）・要申込[5/20まで]、くわしくは4ページをご覧ください。
 - ※ 運営委員会 [役員等のみ]（11号館703教室にて：11時～12時30分）
 - 6月12日（日） 10時～15時25分
 - 総 会（14号館403教室にて、**会員のみ**：10時～10時40分）
 - 一般講演（14号館403教室にて）
一般公開、くわしくは3～4ページをご覧ください。
 - 午前の部 11時～12時
 - 午後の部 13時～15時25分

シンポジウム

「カメ類の起源と進化を考える」

(一般公開)

会場：11号館 703教室 (13:00~17:00)、706教室 (17:00~18:00)

日 時：6月11日 (土) 13:00~18:00

13:00~13:10 開会挨拶、趣旨説明・・・平山 廉さん (発起人・早稲田大学国際教養学部)

13:10~13:50 講演1「カメを作った発生プログラムの進化」

・・・演者 倉谷 滋さん (理化学研究所 倉谷形態進化研究室)

カメは、甲の獲得に際して大規模な解剖学的構築の改変を行っており、結果としていくつかの骨格、筋要素の形態学的相同性を揺るがしている。脊椎動物の祖先的パターンをも大きく逸脱しかねない、このような変化は、進化発生学的文脈においては、祖先的発生拘束の解除によって可能となり、その故にカメの甲は進化的新規形態と呼ぶことができる。その発生機構の変遷を、ゲノムと胚発生と古生物学的証拠から探っていく。

13:50~14:30 講演2「化石記録から見えてきたカメ類の起源」

・・・演者 平山 廉さん (早稲田大学国際教養学部)

近年、*Odontochelys* や *Pappochelys* など三畳紀の根幹的カメ類が新たに報告されている。これらの古生物学的な新知見は、発生学的な証拠から提示されたカメ類の甲羅形成に関する仮説を支持しているように思われる。さらに古生代ペルム紀中期から産出する小型爬虫類 *Eumotosaurus* をカメ類の祖先形であるとみなす新たな見解が提唱されているが、胴肋骨に見られる根幹的カメ類との類似点は収斂進化の結果にすぎない可能性が高い。

14:30~15:05 講演3「化石曲頸類の多様性と海生適応」

・・・演者 吉田将崇さん (東京大学大学院理学研究科生物科学専攻/東大総合博)

現生カメ類は潜頸類 13 科と曲頸亜目 3 科からなる。現生曲頸類はアメリカヨコクビガメ科などが南半球を中心に生息しているが、化石記録からは†ボトレミス科、†アラリペミス科などを加えた 6 科の絶滅分類群があったことが分かっている。そのうち、ボトレミス科では、生態の影響を受ける頭骨の形態の多様性が高いことから、その生態の多様性が示唆される。化石曲頸類はこれまで考えられていた以上に多様なグループであったことが明らかになってきた。

15:05~15:20 休憩

15:20～15:55 講演4 「琉球列島の更新世カメ類化石が示す大量絶滅と動物地理」

・・・**演者 高橋亮雄さん**（岡山理科大学理学部動物学科）

琉球列島の後期更新世のカメ類の化石と遺跡産骨格残骸について研究を進めたところ、在来3種に加えイシガメ科4種とリクガメ科1種からなる5種が検出された。このことは、琉球列島にはかつて少なくとも8種のカメ類が分布していたが、ここ数万年で多くが絶滅したことを示している。絶滅種の分布パターンはこの地域の一般的な古地理仮説とおおむね調和的であったが、例外も認められた。このことから、古地理仮説に関するさらなる検証事例の蓄積が望まれる。

15:55～16:30 講演5 「カメの進化と四肢骨の微小解剖学」

・・・**演者 中島保寿さん**（東京大学大気海洋研究所）

陸生動物の肢骨は髓腔を伴う管状の構造を持ち、水生動物の肢骨は骨内部が緻密化するか、骨全体が海綿質化するのが一般的である。しかしカメの骨は一般に髓腔を持たず、陸生種の四肢骨でも管状構造にはならない。またカメには、体サイズと骨密度の関係、緻密骨の再構築の程度など、一般的な四足動物とは異なる点が多く見受けられる。これらの特徴は、カメが陸上で活発な移動運動を行えないことに関連した「脱適応」と解釈できる。

16:30～17:00 総合討論

17:00～18:00 化石および現生カメ類の観察会（11号館706教室にて開催）

18:30～ 懇親会（4ページをご覧ください）

一般講演[口頭・ポスター]

（一般公開）

会場：14号館403教室（前日の校舎と異なります。ご注意ください）

午前の部（口頭発表）

11:00～11:20 O-1 千葉県銚子市の鮮新統名洗層から産出したアルビレオ科の耳骨化石
（村上瑞季・平山 廉）

11:20～11:40 O-2 東柱類の泳ぐ姿勢の骨格交連
（澤村 寛・安藤達郎・新村龍也）

11:40～12:00 O-3 早稲田大学直良信夫コレクションの第四紀陸生哺乳類化石（予報）
（西岡佑一郎・平山 廉・吉田将崇・武川 愛・高井正成・昆 彰生）

12:00～13:00 昼食

午後の部（ポスター発表・口頭発表）

ポスター等コアタイム

13:00～13:30 P-1 日本の前期白亜紀スッポン上科カメ類とその初期進化
(藺田哲平・平山 廉)

口頭発表

13:30～13:50 O-4 兜岩層の昆虫化石—下仁田町自然史館所蔵の化石標本から得られた新知見—
(田中敏明・真野勝友)

13:50～14:10 O-5 安定同位体比から推定される白亜紀二枚貝イノセラムス類の生態
(高橋昭紀・鶴田 卓・坂井三郎)

14:10～14:30 O-6 硬骨魚類ガーのガノイン鱗ガノイン層にあるエナメルタンパク類似タンパク
(笹川一郎)

14:30～14:45 休憩

14:45～15:05 O-7 歯エナメル質の炭素・酸素同位体比に基づく古生態復元
(鶴野 光)

15:05～15:25 O-8 ヒトの未咬耗の正中歯におけるエナメル質の組織構造と元素組成に関する
進化学的考察
(高橋正志・後藤真一)

※ 演者の皆様へ

- ・一般講演（口頭）は、講演15分、質問5分の計20分です。
- ・一般講演（口頭）には、Windows パワーポイント搭載パソコンを用意します。
Mac ユーザーの方にはご自身のパソコンのご持参をお勧めします。

懇親会(6/11)への申込み

事前申込みが必要です（締切5/20まで延長しました）!!

定員制（30名）のため、定員になりしだい締め切ります。

☆参加費 ¥4000（一名） 18:30～

会 場は「高田牧舎」（早大南門通りぞいにあります）

お申し込みは電子メール、もしくはFAXで下記まで

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1

群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付 化石研究会事務局 宛

メールアドレス：BXJ04105@nifty.ne.jp もしくはFAX：0274-60-1250（館）

早稲田大学（早稲田キャンパス）へのアクセス

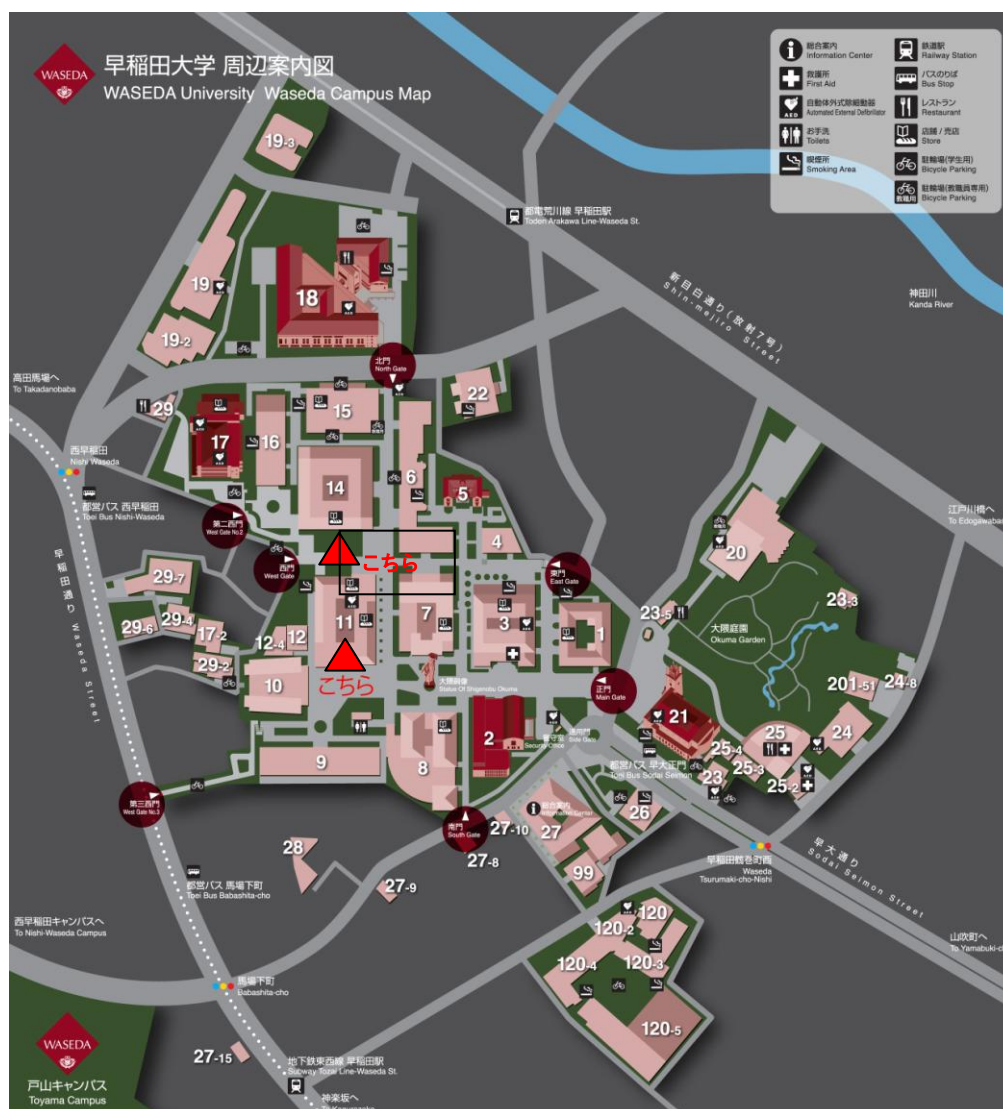
公共交通・・・公共交通機関を利用してお越しください。

- JR山手線／西武新宿線・・・高田馬場駅で下車、徒歩20分
- 地下鉄（東京メトロ）東西線・・・早稲田駅で下車、徒歩5分
- 地下鉄（東京メトロ）副都心線・・・西早稲田駅で下車、徒歩17分
- 都バス（学02 高田馬場駅～早大正門）・・・早大正門（終点）で下車
- 都電荒川線・・・早稲田駅で下車、徒歩5分

※ 宿泊施設・昼食について

- 今回は、宿泊施設のあっせんはございません。
- 昼食につきましても、大学周辺に多くのレストラン、コンビニエンスストア、お弁当屋さんがありますので、あっせんはございません。

※ 早稲田キャンパスの構内地図（▲印が今回使う校舎になります）



早稲田大学 HP (<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>) より

>>> 事務局だより <<<

- 転居や就職等で会誌やニュースの送付先（ご自宅、勤務先）が変更となった際には、事務局にご一報ください。
- 多くの会員の皆さまに、会費を納入いただきました。どうもありがとうございました。未入金の会員の皆さまも納入方よろしく願いいたします。

編集・発行：化石研究会事務局

〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩 1674-1 群馬県立自然史博物館 高桑祐司気付

TEL: 0274-60-1200 / FAX: 0274-60-1250 / E-mail: BXJ04105@nifty.ne.jp

ホームページ <http://kasekiken.jp/>

郵便振替口座 記号番号 00100-7-633288

名 称 化石研究会（カセキケンキュウカイ）

年 会 費 一般 4000 円（学生 2000 円）

この化石研ニュースは、上記の化石研究会のホームページではカラーで見ることができます。

現在、印刷版のニュースが郵送されている方の中で、郵送しなくても良い方は是非ご連絡ください。